

国際ロータリー第2770地区
第11グループ



川口 RC Weekly Report

No. 18

● 定例会
第2922回

2019年12月12日配布

● 事務局
〒332-0012 川口市本町 1-18-5 NTT ビル 1F
TEL 048-222-0124 FAX 048-222-0118
http://www.kawaguchi-rc.com
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp



Topics & Information

● 派遣学生月例報告書 11 月分

派遣学生の齊藤美幸さんから月例報告が届きました。

1) 健康状態
最近ドイツ語のテストやその他諸々やるのが立て続けにあったので、現在少し喉の痛みがありますがそれ以外は何も問題はなく体調を崩さず健康的に過ごしています。

2) 通学・勉強状況
私の学校には私以外にイタリアからの留学生がいます。彼は半年間の留学で、私より1ヶ月遅くこちらに到着したのですが彼のドイツ語は私より上手です。彼は積極的にいろんな人に話しかけにいてみんなと仲がいいです。私は彼のようにみんなに話しかけに行くのは難しいです。性格上と一言で終わらせたくないですが、私が弱いからだと思います。そして私はたくさん考えてしまうところがあります。人一倍いろんなことを見ていて、また感じていることが多いです。相手が少し見せる表情や次に何がくるかたくさんを考えてしまいます。そんな自分がストレスで、黙り込んでしまった一人の方が楽しそうに話しかけてくることもたくさんあります。でも、どうしたらもっとドイツ語が上達するだろうか考えた時、やはり彼のように人と話すことが一番だと思いました。

最近は何も聞かずいろんな人に話しかけています。ホストマザーにイタリアの子に負けたくないと言ったら「イタリアとドイツ語は元々の言語が近いのよ、日本語とドイツ語なんてすごく離れた言語なの、元々のスタートが違うわ、あなたは凄く頑張ってる」と慰めてくれました。また今月は学校でプロムが行われました。オーストリアにプロムがあるなんて知りませんでした。人生初めて最後のプロムは夢のようでした。女の子はみんな豪華なドレス、男の子は綺麗なスーツやタキシードで、みんなで写真を撮ったりダンスをしたり本当に言葉にならないほど感動し一日だけの素敵な夜は、まるでシンデレラになった気分でした。

3) 家庭生活
今月はホストファミリーとオーストリアらしい芸術にたくさん触れさせてもらいました。オペラを観に行ったり、オーケストラを生で観に行きました。蝶々夫人というまさかの日本が舞台のオペラでした。日本が舞台のオペラに(主役は中国の方でした。)日本人が観に行ったものだから、ホストマザーが「この子が本物の日本人だよ。」と周りに紹介して下さいました。そんな彼女が微笑みかけました。いろんなところに連れて行ってくれて、毎日美味しいご飯を作ってくれて、たくさんのお話を聞けるこの家族からホストチェンジの話が出た時は、頭ではホストファミリーが変わるということを知っていたものの、その日が明確に決まるとこの生活が終わってしまうんだと今もなお信じられません。次のホストファミリーもきっといい家族だと思いますが、やっぱり彼らと離れたくないのが今の気持ちです。それでもたくさんの家庭を経験してオーストリアを深く知りたいので次のホストファミリーとも仲良くしたいです。

4) ロータリーの行事参加
今月は地区行事がありませんでしたが、ホストロータリーで日本についてのプレゼンテーションを行いました。このプレゼンテーションはドイツ語でした。浴衣を着て日本の風を吹かせました。ロータリアンさんの前でまだ上手くもないドイツ語を披露するのは滑稽なように思われましたが、皆さん真剣に私のプレゼンテーションに関心を向けてくれ、また「最高だった、上手すぎるよ」と私的には初回のプレゼンテーションで納得いくものではありませんでしたが、ロータリアンさんが褒めのプロムばかりだったので気持ちが高まりました。またこのプレゼンテーションを通してたくさん新しい単語に触れ、またホストファミリーと発音の練習をする時間は私の中でプラスなことばかりで、プレゼンテーションが私を成長させてくれるなど感じました。

5) その他
今月は心が自立してから初めてと言っていいほど大泣きました。地区の大親友であるレーガンがアメリカに早期帰国することになったからです。彼女は私が一番辛かったドイツ語キャンプの時ずっとそばにいてくれ、いつも一緒に部屋になろう、ここに行こう、あそこに行こうと私を誘ってくれ、私をいつも元気にさせてくれる子です。地区行事は彼女に会うために行くとっても過言ではないほど彼女が大好きです。そんな彼女が帰国すると聞いた2~3日は涙しか出ませんでした。決して4Dを破った訳ではなく、鬱状態になってしまっこのまま留学を続けるのが難しくなったからです。彼女の体の為にも仕方ないことですが、私は彼女がとでも恋しいです。また今月フェイスブック以外のSNSを全て絶ちました。私はSNSに当てる時間が多く、それらがあると日常にある何かを見落としてしまう気がするからです。またこの限られている時間の中でSNSを多く使うのはナンセンスだと感じます。少ししか使わないようにと心がけても結局あれば使ってしまうので思い切って絶ちました。辞めてから家族や友達と話す時間、勉強する時間、沢山の時間を有効的に使えています。我ながら良い選択でした。

● 入会式

山下 哲博

やました てつひろ

事業所：(株)エム、サポーターリング

住 所：東京都渋谷区代々木 1-25-5-326

BIZ SMART 代々木

TEL：03-4283-1313

役職名：代表取締役

生年月：昭和 45 年 7 月

紹介者：杉山 直

● 表彰

ロータリー財団

竹ノ谷裕子会員、
渡部行光会長、
小倉克徳会員



米山奨学金

早船雅文会員、
渡部行光会長



次回予定

12月19日 クリスマス家族例会
会場/東京會館
開始/18:00

次々回予定

1月9日 定例会
会場/そごう川口店ダリアルーム
点鐘/12:30

クラブフォーラム① 中間報告
クラブ管理運営・会員増強・会報公共イメージ・SAA

※12月26日と1月2日は休会になります。

会報担当 大竹委員長

あいさつ

例会変更が続き、またこの会場での例会が久しぶりになってしまいました。今年もあと3回の例会になりました。最後はクリスマス家族会です。なにかロータリーの会長をしているせいもありますが、とても忙しい日々を送っています。ここ1,2週間の間にもいろいろな事件や出来事がありました。国会は桜を見る会の扱いをめぐってバタバタしておりますが、何か釈然としない内容ですね。私も一度だけこの桜を見る会に出席したことがあります。そうしたら小倉さんは10回ぐらい出席しているということです。桜も終わって葉桜と八重桜を楽しむ時期なのですが、確かに有権者サービスの雰囲気はありますが、政治家というのはそれは習性なのでしょうね。そこで何か起きるといふ雰囲気ではなく、どうでもいいことように思えます。

この1,2週間で私が印象に残った出来事はローマ教皇の来日でした。テレビの露出度も多く、お年寄りなのに本当にあちらこちらに訪れていたのがびっくりしました。やはり教皇が長崎において、また広島において語った言葉の意味合いは重いです。テーマは「すべてのいのちを守るために」ということです。長崎と広島で行ったスピーチで、核廃絶を訴えて、核抑止力を明確に否定するとか、なかなか平和への踏み込んだメッセージは感動的なものだと思います。理想の言葉の数々は本当に我々の心に重く響くものでした。核兵器禁止条約というのがあって、反対している国はアメリカ、フランス、イギリス、ロシア、日本、北朝鮮は賛成(のちに不参加)、中国は棄権。当初は賛成123反対38棄権16で可決。その内容をよくは理解していませんが、常任理事国は反対なのですね。アメリカの核の傘にある国も反対。現実の政治はなかなかうまく進みません。

しかし現実の世界は厳しい現実の連続であり、それに追われる我々の日常は本能や欲望に満ちた弱肉強食の世界であります。現実主義と理想主義、このどちらの見解に真を求めるかは難しいのですが、この現実主義と理想主義のお互い相いれない論理のように見えても、我々はその都度うまく使い分けながら、その中間でバランスをとって解を求めるしかないのでしょうか。ローマ教皇や天皇陛下は理想を掲げ、彼らの職分は祈ることです、祈る目標と、政治や経済が解決できる目標とはレベルが違います。いまのところ私は本能や欲望に促されて地上を這いずり回るしかないのですが、少しでもより広い視野で高い目標を目指したいものです。

例会も今日を含めてあと3回、最後はクリスマス会。今年は年末年始の休みが長く、どこにも行かなければ、ゆったり過ごせるのではないかと思います。頑張りましょう。

渡部 行光

